



## 令和5年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

令和4年11月10日

上場会社名 細谷火工株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4274 URL <http://www.hosoya-pyro.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細谷 稷志  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 秋葉 真奈美 TEL 042-558-5111  
 四半期報告書提出予定日 令和4年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和5年3月期第2四半期の業績（令和4年4月1日～令和4年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年3月期第2四半期	540	△14.7	67	4.1	69	4.2	48	4.8
4年3月期第2四半期	633	△0.8	64	△24.0	67	△22.7	46	△22.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年3月期第2四半期	12.11	—
4年3月期第2四半期	11.56	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年3月期第2四半期	4,058	2,799	69.0
4年3月期	4,219	2,793	66.2

(参考) 自己資本 5年3月期第2四半期 2,799百万円 4年3月期 2,793百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年3月期	—	—	—	8.00	8.00
5年3月期	—	—	—	—	—
5年3月期（予想）	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 令和5年3月期の業績予想（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,590	△11.4	162	△10.6	164	△12.0	115	△9.2	28.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

5年3月期2Q	4,032,000株	4年3月期	4,032,000株
5年3月期2Q	29,466株	4年3月期	29,466株
5年3月期2Q	4,002,534株	4年3月期2Q	4,002,534株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、経済社会活動の正常化が進み、景気は緩やかに持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、ロシアのウクライナ侵攻による原材料・エネルギー価格の高騰、急激な円安に伴う物価の上昇など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社は労働環境の改善と生産効率の向上を目的とした設備投資を継続いたしました。そのため固定費は増加しておりますが、生産現場の徹底した効率化により利益率は向上いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は540百万円（前年同期比14.7%減）、営業利益67百万円（同4.1%増）、経常利益69百万円（同4.2%増）、四半期純利益48百万円（同4.8%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ① 火工品事業

火工品の分野においても原価高騰が継続し、民間製品を中心に適切な価格転嫁に努めましたが、主力の防衛省向け製品の大幅な受注減により売上高は減少いたしました。利益面では、原材料やエネルギー価格の高騰に加え、処遇改善による労務費の増加などで収益性の低下が見込まれました。しかし、今期より製品の特性に合わせて組織を変更し生産体制の再構築を進めると共に、各工程の見直しを図り生産効率を高めた結果、増益となりました。

売上高は451百万円（前年同期比17.8%減）、セグメント利益は23百万円（同8.2%増）となりました。

#### ② 賃貸事業

火薬庫の契約が増加したことなどで売上高は89百万円（前年同期比4.9%増）、セグメント利益は63百万円（同2.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は4,058百万円（前事業年度末比161百万円減）、負債合計1,258百万円（同168百万円減）、純資産合計2,799百万円（同6百万円増）となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和5年3月期の業績予想につきましては、前回発表（令和4年5月12日「令和4年3月期決算短信[日本基準]（非連結）」）の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和4年3月31日)	当第2四半期会計期間 (令和4年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,191,323	868,573
受取手形及び売掛金	286,427	160,408
電子記録債権	9,051	7,920
商品及び製品	36,381	25,326
仕掛品	217,685	453,978
原材料及び貯蔵品	287,874	314,052
その他	8,993	47,444
流動資産合計	2,037,737	1,877,705
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	282,081	305,817
土地	1,321,680	1,321,680
その他(純額)	150,091	143,632
有形固定資産合計	1,753,853	1,771,130
無形固定資産	33,277	27,963
投資その他の資産		
投資有価証券	391,024	377,879
その他	4,045	4,045
投資その他の資産合計	395,069	381,924
固定資産合計	2,182,200	2,181,018
資産合計	4,219,937	4,058,723
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	107,092	52,059
短期借入金	511,004	611,004
未払法人税等	46,901	26,571
賞与引当金	47,426	48,679
その他	192,058	107,908
流動負債合計	904,482	846,224
固定負債		
長期借入金	247,557	142,055
リース債務	21,282	14,608
退職給付引当金	56,227	61,455
役員退職慰労引当金	85,023	89,245
製品保証引当金	2,339	2,198
資産除去債務	9,434	9,434
その他	100,473	93,530
固定負債合計	522,336	412,527
負債合計	1,426,819	1,258,752

(単位：千円)

	前事業年度 (令和4年3月31日)	当第2四半期会計期間 (令和4年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	201,600	201,600
資本剰余金	18,121	18,121
利益剰余金	2,355,095	2,371,540
自己株式	△14,690	△14,690
株主資本合計	2,560,126	2,576,571
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	232,991	223,399
評価・換算差額等合計	232,991	223,399
純資産合計	2,793,118	2,799,971
負債純資産合計	4,219,937	4,058,723

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
売上高	633,463	540,068
売上原価	416,994	333,311
売上総利益	216,468	206,756
販売費及び一般管理費	151,687	139,307
営業利益	64,781	67,449
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3,351	3,506
雑収入	1,046	636
営業外収益合計	4,397	4,142
営業外費用		
支払利息	1,749	1,650
雑損失	313	0
営業外費用合計	2,062	1,651
経常利益	67,116	69,941
特別損失		
固定資産除却損	0	183
特別損失合計	0	183
税引前四半期純利益	67,116	69,757
法人税、住民税及び事業税	23,473	23,452
法人税等調整額	△2,615	△2,159
法人税等合計	20,857	21,293
四半期純利益	46,258	48,464

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	67,116	69,757
減価償却費	28,910	30,718
受取利息及び受取配当金	△3,351	△3,506
支払利息	1,749	1,650
売上債権の増減額 (△は増加)	290,681	127,634
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△161,593	△251,416
仕入債務の増減額 (△は減少)	△34,609	△55,032
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,125	1,253
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,221	4,221
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△11	△141
未払又は未消費税等の増減額	△41,945	△58,875
その他	△30,080	△74,469
小計	123,212	△208,205
利息及び配当金の受取額	3,351	3,506
利息の支払額	△1,739	△1,660
法人税等の支払額	△37,907	△42,196
営業活動によるキャッシュ・フロー	86,917	△248,556
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△16,430	△29,088
投資有価証券の取得による支出	△753	△678
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,184	△29,767
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	500,000	500,000
短期借入金の返済による支出	△500,000	△500,000
長期借入金の返済による支出	△5,502	△5,502
リース債務の返済による支出	△7,194	△6,715
配当金の支払額	△27,721	△31,658
その他	△549	△549
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40,968	△44,425
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	28,764	△322,749
現金及び現金同等物の期首残高	818,191	1,141,323
現金及び現金同等物の四半期末残高	846,955	818,573



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。